



グローバルコア人材養成コース

GECwebサイト



多様化・複雑化した現代社会において、課題解決へのアプローチは1つとは限りません。このコースでは、完全なる正解がないこともある海外・国内におけるグローバル環境で、組織のコア人材として活躍できる素養、能力、教養を身につけ、主体的に協働できる人材の育成を目指します。

授業履修や海外研修によりグローバルな視野を広げ、ポートフォリオで学びの成果、成長を確認し、自分の強みを見つけることで将来の就職活動にも役立てることができます。



BASICコース 履修登録申請

履修対象者：全学部の学生

【期間】原則として、前期・後期の履修登録期間中。

【登録方法】登録フォームから申請する。

※上記登録期間終了後でも、履修登録の内容によって追加登録できる場合がありますので、global_core@shinshu-u.ac.jpまでご相談ください。



(注) 信州大学のGmailにログインしていないとフォームを開けません。

BASICコース (主に1年次)

BASICコースでは、日本・海外について学び、異文化理解力を高め、短期海外研修を経験し、グローバルマインドを獲得します。

10単位取得 GPA2.67以上

➔ 本コースが設定する各科目群から1科目以上を選択し合計4科目を履修。

- 国際理解科目群より1科目(2単位)
- 日本理解科目群より1科目(2単位)
- グローバルコア人材力養成科目群より1科目(2単位)
- + 上記3科目群より追加1科目(2単位)

➔ 各自で希望する海外研修に参加。

グローバル実践BASIC【短期海外研修】(2単位)

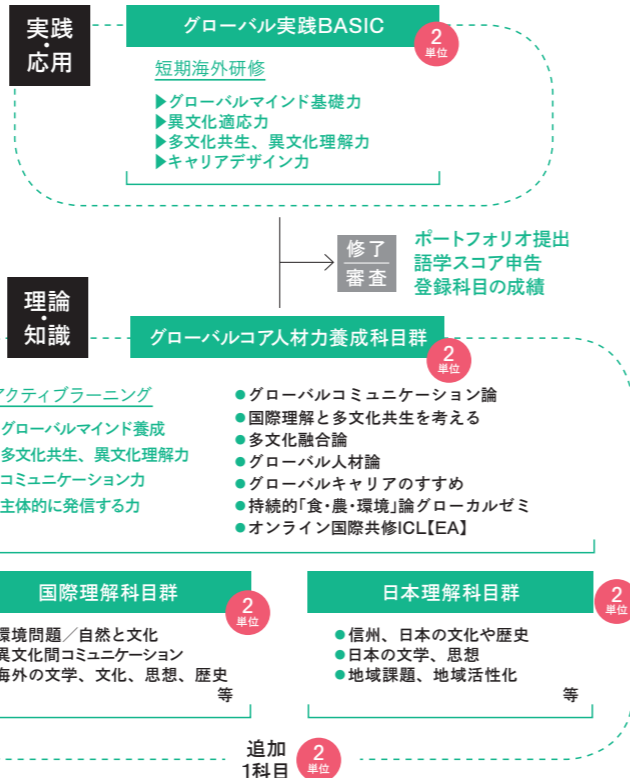
実際に現地研修に参加する「オンサイト研修」と「オンライン研修」から選択します。

【修了認定要件】

- 指定した科目から10単位、GPA2.67を取得
- 海外研修または海外オンライン研修参加(2単位)
- 英語能力試験 (TOEIC500点と同等以上)
- ポートフォリオ作成 (BASICコース)

<対象となる英語能力試験>

TOEIC、TOEIC-IP (含オンライン)、英検、IELTS、TOEFLIBT、TOEFL ITP、CASEC、TOEIC Bridge
※CEFRB1レベル以上



【計画的な語学学習「Reallyenglish」】

コース登録者には語学学習教材「Reallyenglish」のアカウントが付与されます。目標を立て、計画的に学習を進め語学スコアアップを目指します。



ADVANCEDコース (BASICコース修了者のうち希望者)

ADVANCEDコースでは、BASICコースで培った力をもとに、自分の専門について深く学び、自律型海外研修を経験し、自らの成長や資質を客観的に評価することで、グローバル環境において活躍できる実践的スキルを身につけます。

6単位取得

➔ 所属学部が指定するグローバル科目(専門科目)を履修。

学部専門科目群より1科目(2単位)

➔ より高度な海外研修に参加。

グローバル実践ADVANCED【自律型海外研修】(2単位)

➔ 自律型海外研修で得た経験から学びを発展させる。

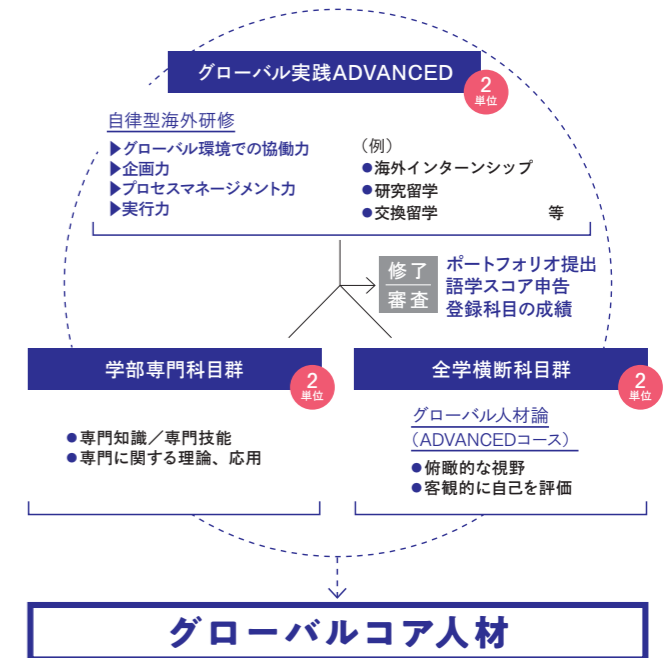
グローバル人材論(ADVANCEDコース)(2単位)

【修了認定要件】

- 指定する科目から6単位
- グローバル実践ADVANCED【自律型海外研修】(2単位)
- 英語能力試験 (TOEIC700点と同等以上)
- ポートフォリオ作成 (ADVANCEDコース)

<対象となる英語能力試験・スコア>

TOEIC、TOEIC-IP (含オンライン)、英検、IELTS、TOEFLIBT、TOEFL ITP、CASEC
※CEFRB2レベル以上



グローバルコア人材

先輩の声

もりやま たくひろ
森山 拓洋さん



信州大学 経法学部
での所属 総合法律学科

勤務先 株式会社キーンズ

留学した国と派遣先: ①マレーシア KDDI株マレーシア法人
②マレーシア 株デリカ

留学期間: ①2018年9月の2週間
②2020年10月~12月

留学の種類: ①インターンシップ
②オンラインインターンシップ

コースや留学の中で一番の学びは、「皆同じなんだなあ」ということです。元々、日本から出たこともなかった私にとって、世界は異質で違うものでした。ですが、講義や留学中に多くの方々と交流する中で共通性が見え始め、違いによる壁は自然と消えていったのです。それから、その共通性を土台にどっしりと構え、見えてくる違いを協働する中でどう活かしていくかを考え実践するようになりました。これは、国内で協働する際にも立ちます。こうした体験を肌で感じ、繰り返していく中で、私自身の世界が広がりました。この学びと広がりは、就職活動だけでなく、仕事や私生活にも楽しさを生んでくれています。

また、留学と言っても、長期で現地に向かう場合やリモートで交流する場合もあり、国内で海外の方々と交流したりと様々です。自分に必要な手段はこのうちどれでしょう。何かに固執するのであれば、そこに皆さんの思いが隠れているはず。一方、留学に行くこと自体も迷う種だったりします。そんな時は、是非迷ってください。迷って考えて、時には行動して、その先に皆さん独自の学びが生まれ、皆さんにしか見ることができない世界が広がっています。その手段の一つとして、「留学」してみるのはいかがでしょうか。

